

R4年度 野方保育園自己点検・自己評価表（保育担当者）

常勤・パート全体の集計結果

【評価基準】

A：かなりできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：ほとんどできていない

1、保育の方法・内容

【養護】

	A	B	C	D
子どもひとりひとりの発達を理解して接している。	3	12		
子どもひとりひとりに丁寧に対応している。	5	10		
登園時は子どもの気持ちを考慮して対応している。	5	10		
子どもが何を求めているか、常に配慮して接している。	2	13		
子どもひとりひとりが安心できる環境づくりを心がけている。	3	11	1	

【健康】

食事や排せつなどの生活に必要な活動に自ら取り組むよう配慮している。	6	9		
衣服の着脱に際して子どもの意欲を大切に衣着脱しやすいよう配慮している。	4	9	1	
トイレの後や食前の手洗いなど清潔にする習慣が身につくように働きかけている。	6	6	1	1
活動に際して子どもが健康・安全に過ごせるような内容・環境を工夫・配慮している。	3	11	1	

【人間関係】

友達との関わりで友達の良さや大切さに気付くよう配慮している。	4	10	1	
子ども同士が互いにの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	3	12		
ルール（きまり）の大切さを伝える工夫をしている。	4	9	2	
異年齢の子どもと関わることを大切にしている。	1	11	3	
色々な人との交流が持てるよう工夫している。		9	6	

【環境】

身近な自然に興味・関心が持てるよう工夫している。	3	8	4	
子どもが身近な動植物に触れ合う機会をつくっている。		8	6	1
地域との交流が持てるよう自ら積極的に働きかけている。		8	5	2
集団の中での過ごし方や役割について気付けるような工夫をしている。		11	3	1
園外保育等で公共機関を利用したり、地域に興味を持てるようにしている。	1	10	2	2
伝統的な行事を生活の中に取り入れている。	1	11	3	

【言葉】

読み聞かせの時間を大切にしている。	5	9	1	
子どもが話しやすい雰囲気作りを心がけている。	4	11		
「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉を相手の気持ちを大切に指導している。	7	8		
あいさつの大切さを伝え、きちんとできるよう指導している。	7	8		
生活に必要な簡単な文字・記号等に興味や関心が持てるよう配慮している。	3	10	1	1

【表現】

美しいものに感動したり、イメージを広げたりする機会をつくっている。	3	8	3	1
感じたことや考えたことを自由に表現する機会をつくっている。	1	11	3	
子どもが自由に歌ったり、踊ったりすることを楽しめるようにしている。	6	9		
様々な素材や道具の正しい使い方を丁寧に教えるよう心がけている。	2	11	2	
子どもの作品を大切に扱い、工夫して飾るなどしている。	5	10		

【乳児保育】

	A	B	C	D
乳児期にふさわしい安全で衛生的な環境を心がけている。	3	4	1	
授乳は子どもの欲しがるときにゆったりと行っている。		5		
ひとりひとりの育ちに合わせ、家庭と連携しながら離乳食を進めている。	2	3		
ひとりひとりの生活リズムに合わせて睡眠がとれる場所や時間を設けている。	1	4		
乳幼児突然死症候群（SIDS）に配慮した保育を行っている。	1	4		
おむつの交換は声掛け、スキンシップを大切にしながら行っている。	2	4		
たて抱きや腹ばいなどは様々な姿勢がとれるように配慮している。	2	4		
しぐさや声を介し、要求を察知してタイミングよく対応している。	2	3		
やりとりや触れ合い遊びを大切にしている。	1	4		
語にはやさしく答えるようにしている。	2	4		
特定の保育者との継続的な関りと共に、職員間での連携をとって保育している。	2	3		

【障害児保育】

障害のある子どもの特性に配慮した個別の計画を作成し、保育を行っている。		3	2	
障害のある子どもとない子どもが互いに認め合い共に成長できるよう配慮している。	3	4		
障害のある子どもを持つ保護者の気持ちを受け止め、話をする機会を設け支援している。	2	4	1	
医療機関や地域の専門機関との連携を図りながら保育援助している。		6		

2、発達援助の基本

【指導計画の作成】

指導計画を作成する際は、園の理念や保育過程等を基にしている。	1	7		
指導計画を子どもの発達する姿、興味、関心に基づいて見直し、次の作成にかかっている。	1	7		
指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できる。	1	6	1	

【保育計画】

子どもの保育に関する情報を職員間で共有している。	7	6		
保育の計画や実践に向けて、創意工夫に努めている。		13		
自分の保育の良さと課題を認識し、改善に努めている。	3	7	3	
保育雑誌や専門書などを読んだりして保育情報を集めている。	3	6	3	
園の会議などで、子どもの利益を一番に考え発言している。	2	8	3	
業務上知り得た個人情報などの秘密を守っている。	11	2		

3、健康管理・食事

登園時や保育中の子どもの体調の変化に気づき、すぐに対応できるよう努めている。	7	8		
感染症等が発生した際、職員間で情報を共有している。	9	6		
感染症が発生した際、マニュアルに基づいて対応している。	7	8		
その日の喫食状況（哺乳）に気になる点があった際などは保護者に伝えている。	9	4	1	
身体測定や健康診断の結果を保護者に伝えている。	9	5	1	
子どもが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫している。	4	10	1	
食事に興味を持てるよう配慮している。	3	11		

4、保育環境

	A	B	C	D
子どもが心地よく過ごせるよう換気や通風、温度や湿度調整に配慮している。	8	7		
四季に応じて保育室の環境を整えている。	4	9	2	
自然とのふれあいを大切に心が豊かになるよう配慮している。	1	10	4	
トイレや手洗い場を清潔に保っている。	9	6		
遊具や玩具、砂場などの点検や消毒を定期的に行っている。	6	9	1	
ひとりひとりの興味に合わせて好きな遊びができるようにしている。	2	11	1	1
発達に合った玩具や遊具を用意している。	4	10	1	
子どもの動線を考えて遊具や用具などを配置している。	3	11	1	
不審者などの侵入を防ぐ対策や対応ができるようにしている。	1	10	2	2
必要な場所に転倒防止対策をしている。	1	8	4	2
しぐさや声を介し、要求を察知してタイミングよく対応している。	2	13		
やりとりや触れ合い遊びを大切にしている。	5	9		
喃語にはやさしく答えるようにしている。	6	8		
特定の保育者との継続的な関わりと共に、職員間での連携をとって保育している。	5	10		

5、子育て支援

家庭と協力して子どもが健康的な生活リズムを身につけられるようにしている。	2	12	1	
子どもの育ちの過程を伝えたい、共通理解に努めている。	3	12		
悩みや不安を話せるように心を開いて対応している。	3	12		
保護者の保育参加など子育てについて共通理解を得るための機会を設けている。	2	10	3	
虐待について速やかに対応できるよう努めている。	2	10	2	
地域への取り組みに積極的に参加している。	1	4	7	3
一時保育の際、子どもひとりひとりに丁寧に対応している。	5	8		

6、地域住民や関係機関との連携

園がその役割を果たすために必要な地域の関係機関の働きについて知っている。	2	8	4	
園周辺の住民と良好な関係が築けるよう努めている。	1	9	4	
中高生等の保育体験やボランティアを受け入れる際はその意義や方針を理解・確認している。	3	10	1	
保育実習生を受け入れる際は意義や方針を理解し指導的立場にあることを意識している。	4	10		
小学校との連携について理解している。	1	11	1	
小学生と交流する機会を設けている。		7	1	2
就学に向けて小学校との情報交換等を行い連携している。		4	1	1
地域の高齢者と接する機会を設けている。		7	1	3

7、運営管理

園の保育理念や基本方針を理解し、日々の保育活動に活かしている。	2	12	1	
園長や主任、同僚との間で良好な関係を築いている。	1	12	2	
事故や災害が生じた際にきちんと対処できる。	2	11	2	
園が目指す目標に向けて互いに協力している。	1	13	1	
個人情報保護の観点から常に対応している。	6	8	1	
互いの状況や役割を理解し責任を持ち、また協力・援助するよう努めている。	6	9		
保護者や地域の方々のニーズを読み取られるよう努めている。	3	10	2	
苦情や要望には謙虚に話を聞いて対応している。	6	9		
報告・連絡・相談をするよう心掛けている。	6	8	1	

8、マナー・向上

	A	B	C	D
保護者に対して親しみを込めた挨拶や会話ができるよう心掛けている。	7	6		
きれいな言葉で心地よい会話や挨拶ができるよう努めている。	3	10		
子どもの体調不良などの連絡時の伝達方法に配慮している。	6	7		
心配りのあるマナーやエチケットに努めている。	2	11		
仕事に適した身だしなみに気を付けている。	4	9		
自己の健康管理に努めている。	5	7		
積極的に研修に参加し、互いの知識や技術の向上、習得に努めている。	3	4	1	
協力体制の重要性を認識し、上司・職員間でのコミュニケーションを大切にしている。	2	11	5	1
先輩・後輩の垣根を超え、互いの長所・短所などの相互理解に努めている。	2	11		

全体評価及び課題と検討

※C（あまりできていない）・D（ほとんどできていない）評価が多かった項目

色々な人との交流が持てるよう工夫している。		9	6	
身近な自然に興味・関心が持てるよう工夫している。	3	8	4	
子どもが身近な動植物に触れ合う機会をつくっている。		8	6	1
地域との交流が持てるよう自ら積極的に働きかけている。		8	5	2
自然とのふれあいを大切にして心が豊かになるよう配慮している。	1	10	4	
必要な場所に転倒防止対策をしている。	1	8	4	2
地域への取り組みに積極的に参加している。	1	4	7	3
園がその役割を果たすために必要な地域の関係機関の働きについて知っている。	2	8	4	
園周辺の住民と良好な関係が築けるよう努めている。	1	9	4	
<p>◎コロナ禍で、行事も来場者制限があったり、内容をも縮小する必要があった。又、園外保育に出かけたり、保育園以外の人との交流をする機会が少なかった。5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類への変更になるので、色々な人との関わりが持てるように計画していく。</p> <p>◎担任とパート職員との連携しながら、地域の関係機関とのつながりや活用についても共通認識を図っていく。</p> <p>◎年度末、離職者が多かった。職員間の協力体制はできていたが、一部上司・職員間のコミュニケーションはうまくとれていなかった部分もあるので、クラス間だけでなく、全職員でのコミュニケーションを図れるように場を設けたり、体制づくりをしていく。</p>				